

## 「奈良市行政改革大綱」

### 平成 15 年度の成果

#### 【事務事業の見直し】

しみんだよりの発行回数を月 2 回から月 1 回に変更し、経費削減を図りました。

市総合医療検査センターの管理運営委託料の見直しを行い、経費削減を図りました。

長寿お祝い事業の内容を見直し、経費削減を図りました。

基本健康診査について 40～59 歳の受診者から 1,500 円の自己負担金を徴収することとしました。

奈良市の観光ホームページの運営を(社)奈良市観光協会に移譲しました。

小・中学校等公共施設の耐震一次診断について、職員による自主診断により、経費削減を図りました。

住宅管理経費について、清掃業務等の年間委託の廃止をはじめ各委託業務の見直しにより、経費削減を図りました。

市営住宅建替事業の自主設計及び設計見直しによるコスト縮減並びに分離発注による経費削減を図りました。

東部下水道事業において、集合処理方式(農業集落排水処理施設)から個別処理方式(合併処理浄化槽)への一部転用(併用)により、事業費の大幅な縮減、整備期間の短縮、効率化につながりました。

幼稚園の園児支援加配講師の勤務形態を非常勤に変更することにより、経費削減を図りました。

教員交換事業について、トレド市からの交換教員を廃止することにより、経費削減を図りました。

児童・生徒の脊柱側弯検査について、対象者の見直しにより、経費削減を図りました。

教職員等の資質の向上を図るための人権教育研究事業委託について、講演形式から参加体験型に変更する等内容の見直しをすることにより、効果的・効率的に事業を行うとともに、経費削減を図りました。

補助金について各種観点から見直しを図りました。

行政評価システムの本格稼働に向け、各課 1 事業(水道局を除く)を対象に、事後評価を試行実施しました。

#### 【組織・機構の見直し】

国民年金課を市民課のかいとして位置づけ、国民年金室と名称変更するとともにグループ制とすることにより、簡素で効率的な組織に再編を図りました。

#### 【定員管理と給与の適正化の推進】

定員適正化計画に沿って職員の採用、退職、配置換え等の管理を行った結果、計画の目標値を上回って達成しました。

55歳昇給停止の導入のため関係規則の改定を行い、中長期的な人件費の抑制を図りました。

特別職等給料については10%、議員報酬については5%、一般職給料については職務の級に応じて2%～4%減額することにより、人件費を抑制しました。

#### 【情報技術の活用等による行政サービスの向上】

総合行政ネットワーク(LGWAN)に参加し、国や他の地方公共団体とのネットワークの相互接続により、より広範な情報交換、情報共有が実現し、行政事務の効率化・迅速化が可能となりました。

水道施設管理システムの本格稼動に伴って、クライアント(端末)を3台増設するとともに、データの水道局による更新により施設の最新データを提示することが可能となり、各課窓口業務、現場立会や各種工事に有効的に活用できました。

#### 【開かれた市政と公正な行政運営の推進】

奈良市議会ホームページで、平成11年5月臨時会以降の奈良市議会会議録を公開することにより、市民の市政への理解と協力の促進を図りました。

制限付き一般競争入札に係る業種を拡大することにより、入札の透明性及び競争性の確保・向上を図りました。

#### 【自主財源の確保と経費の節減合理化等の推進による財政の健全化】

留学生健康奨励金(国民健康保険料相当額)の支給について、支給対象を絞り込むことにより、経費を節減しました。

バンビーホーム(放課後児童健全育成施設)の利用について、受益者負担を導入しました。(児童一人につき、月3,000円(二人目については2,000円)の児童育成料を徴収)

被保護世帯に対する夏季及び歳末見舞金の支給額について見直しを行い、経費削減を図りました。

第9号(紀寺)市営住宅駐車場の有料化を図りました。

#### 【会館等公共施設の効率的な設置と管理運営の推進】

第8号(肘塚)市営住宅の統合廃止に向け調整を行いました。

青年の家交楽館の管理運営を(財)奈良市武道振興会に委託しました。